



第20-78号

2021年3月5日

しっかり分別してもう一度ペットボトルに戻す「ボトル to ボトル」の取り組み
3月12日、新宿駅でペットボトル回収に関する実証運用を開始
 ～ 資源の循環サイクルを強化し、限りある地球資源を有効活用 ～

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：星野 晃司）は、2021年3月12日（金）から6月11日（金）まで、小田急線新宿駅6番ホームにリサイクルステーションを設置し、使用済みペットボトルを新たな飲料用ペットボトルにリサイクルする「ボトル to ボトル」に向けた実証運用を開始します。この施策は、多くの方に利用いただく鉄道事業者であり、天然水・緑茶「箱根の森から」を商品化、販売する立場から、SDGs 目標 12「つくる責任 つかう責任」に向き合っており、取り組むものです。

現在、日本国内で回収されたペットボトルの多くは、回収状況によってペットボトルにリサイクルすることができず、トレイや繊維などにリサイクルされた後、焼却処分される傾向があります。今般、小田急線でも最もご利用が多い新宿駅にリサイクルステーションを設置し、お客さまにキャップやラベルの分別回収にご協力いただくことで、ペットボトルへの再利用可能な状態での回収を促進します。本施策を通じて、より多くの再生可能なボトルの回収に必要な要素を抽出し、今後、新宿エリアや小田急線沿線における展開を検討してまいります。

当社では、SDGs等の視点から社会やお客さまに新たな価値を提供する新規事業創造に向け、社内アイデア公募制度“Climbers（クライマーズ）”を実施しています。本取り組みは、その一環で、プロジェクト名「RE: BOTTOLE A（リボトルアクション）」として実施します。

なお、本実証に先立ち、2020年10月から当社施設にて分別回収BOXを設置し、社員と関係者がボトル to ボトルに取り組んでいます。本施策の意義を広く共有し、皆さまとともにリサイクルに努めてまいります。



新宿駅に設置する「リサイクルステーション」

(イメージ)

「ボトル to ボトルを目指した実証」の概要は下記の通りです。

記

- 1 実証期間 2021年3月12日（金）から6月11日（金）まで（予定）
- 2 実証内容 リサイクルステーションを設置し、分別を促進します。回収量、回収したペットボトルの分別状況、異物の混在率を調査し、より多くの再生可能なボトルの回収に必要な要素を抽出します。
- 3 設置場所 小田急線 新宿駅 西口地上改札口付近



- 4 分別内容
 - ・キャップ・・・ペットボトルのキャップ
 - ・飲み残し・・・容器の中に残った飲料水
 - ・プラスチック・・・ペットボトルのラベルを含む、プラスチック類
 - ・ペットボトル・・・ペットボトル

以 上